



# 郷田っ子

江津市立郷田小学校  
 学校だより  
 令和4年10月18日  
 (校長 平田 裕)

暑い日が続いていると思っていましたら、このところ急に気温が下がり、体調管理が難しくなっています。今後、確実に秋が深まっていくことでしょう。市内では先々週、感染症拡大のために臨時休業となった学校もありましたが、郷田小学校の子どもたちは元気に過ごしています。ご家庭でも、健康管理に気を付けていただいていることに感謝しています。

## 郷田小のできごと あれこれ (今回は紙面の都合で、簡略化してお知らせします。)

- 9月21日, 4年生が旧跡市小学校裏の畑で苔の栽培の様子を見学しました。
- 9月22日, 6年生が市総合市民センターで行われた情報モラル講演会に参加しました。
- 9月29日, 1年生が多目的広場周辺でドングリ拾いをしました。
- 9月30日, 3年生が上津井温泉近くのパパイヤ畑に見学に行きました。
- 10月4日, 授業公開日でした。授業後子どもたちは、はなまる日本語学校の皆さんと交流しました。その後、保護者の皆さんはPTA研修会で、はなまる日本語学校の校長先生の講演を聴きました。
- 10月11日, 6年生が「わくわくエンジンプログラム」を体験しました。
- 10月14日, 5・6年生が江津市小中音楽会に参加しました。

## 全国学力・学習状況調査の結果

4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果が返ってきました。人数が少ないので、平均正答率だけで結果を捉えるのはいかがかとも思いますが、結果を真摯に捉えることも大切だと考えお伝えします。

○が全国平均とほぼ同じか上回っているところで、●が全国平均を下回っているところです。

国語	知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等			評価の観点別平均正答率	
	言葉の特徴や使い方	我が国の言語文化	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断 表現
	○	○	●	●	●	○	●

算数	領域別 平均正答率				評価の観点別平均正答率	
	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断 表現
	○	●	●	●	●	○

理科	領域別 平均正答率				評価の観点別平均正答率	
	エネルギー	粒子	生命	地球	知識・技能	思考・判断 表現
	●	○	○	○	○	○

国語では、「知識・技能」が高く、「思考・判断・表現」に課題があることがわかります。漢字の読み書きや言葉の決まりはよく理解していますが、正確に理解したり適切に表現したりする力を伸ばしていく必要があるということです。

算数では、計算はよくできるが、他の領域の「知識・技能」の定着に課題があることを示しています。ただし「思考・判断・表現」では全国を上回っていますので、少々難しい問題にもくらいつていることがわかります。

理科は「エネルギー」の領域を除いて良い結果で、「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに学んだことをよく身につけているといえるでしょう。

ところで、子どもたちはどんな問題で苦戦しているのでしょうか。例を挙げます。国語の問題で公園をきれいにすることについて話し合っている2ページにわたる文章とアイデアのメモを読んで、答える問題で次のような小問がありました。

岡さんは、【話し合いの様子の一部】の□で、「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数には含まない。

この3つの条件をすべてクリアしないと正答となりません。多くの子が苦戦したのは、一番初めの条件です。アイデアのメモにはよい点と問題点は書いてありますが、解決方法は書かれていません。解決方法を自分で考えて書かなければならないのです。ところが子どもたちの解答用紙を見ると、問題点の解決方法が書かれていないものがたくさんありました。

これまで国語の問題といえば、文章に書かれている内容から答えを見つけていくというものばかりでした。しかし、この問題では、自分で解決方法を考えて書くことが求められています。レベルが格段に上がったといえるでしょう。しかし今は、こうした力が求められているのです。

次は算数の問題です。果汁の量が30mLのとき飲み物の量は100mLといった表を示して次のように問います。

果汁の量が180mLのときの飲み物の量は、何mLになりますか。

180mLが30mLの何倍かをどのように求めたのかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

ほとんどの子は、答えの欄には600mLと正しい答えが書けます。答えが出せたのですから、おそらく教室で説明させたら話せる可能性が高いと思います。しかし、答えの求め方を書きなさいと言われるとできません。答えの求め方を「式や言葉」を使って書き切るような力が求められています。単に答えを出せただけでは、正答とはなりません。

いかがでしたでしょうか。これを読まれている保護者の皆さんや地域の皆さんが小学生の時に受けられたテストとはかなり違うのだということがおわかりでしょう。あらかじめ唯一の正解が準備されていて、それを書けば事足りるというテストではありません。一夜漬けで知識を丸暗記して、中間テストや期末テスト、入学試験を乗り越えられる時代ではないのです。